

2023年4月6日

報道関係各位

## 連合および労働組合のイメージ調査

日本労働組合総連合会(略称:連合、所在地:東京都千代田区、会長:芳野 友子)は、2022~2023年度の運動方針に「安心社会へ 新たなチャレンジ~すべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在へ』~」を掲げて活動を進めています。

このたび連合・労働組合の認知度や連合に対するイメージなどを把握することを目的に、「連合および労働組合のイメージ調査」をインターネットリサーチにより2022年10月28日~10月31日の4日間で実施、全国の15歳以上の男女2,000名の有効サンプルを集計しました(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)。

### 【調査結果のポイント】

#### 《労働組合について》

- ◆ 労働組合の認知率は90.5%、10代で73.0%と若い世代ほど認知率が低い傾向
- ◆ 若い世代ほど、自分自身が労働組合に加入しているか「わからない」と回答

#### 《連合について》

- ◆ 連合の認知率は56.6%、女性49.4%、男性63.8%と女性の認知率が低い
- ◆ 連合の取り組みとして知っているもの  
1位「春闘の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」
- ◆ 連合のイメージ 1位「保守的な」2位「伝統的だ」3位「影響力のある」
- ◆ 「連合は身近な存在だと思う」は連合認知者の35.1%、若い世代のほうが高い傾向

#### 「連合の現在地と課題を認識し、認知を広げる取り組みを」

日本労働組合総連合会 総合運動推進局長 内藤靖博

今回の調査は、連合が2022~2023年度の運動方針に掲げるスローガン「安心社会へ 新たなチャレンジ~すべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在へ』~」に対して、連合の現在地をはかるための指標として実施したものです。

調査結果からは、労働組合の認知率が9割と高い一方で、連合の認知率は6割弱に留まり、若い世代ほど低くなることがわかりました。また、連合には「保守的な」「伝統的だ」とのイメージを持つ人が多く、『必ずそばにいる存在』から想見される「自分たち向けの」「身近だ」「親しみやすい」などは低位になりました。連合を「身近な存在だと思うか」という質問に対しても、6割以上が「そう思わない」と答えており、連合が『必ずそばにいる存在』となっていない現状が見て取れます。

一方、「連合の取り組みとして知っているもの」では、春季生活闘争や政治・選挙活動など、マスメディアを通じて報道される機会の多い活動だけでなく、労働相談・組合づくり支援や非正規雇用の取り組みなども上位に入っており、働く人に密着した活動が連合の取り組みの認知につながっていることがわかります。

しかしながら、仕事に関する不満の相談先として労働組合の割合が低いことや、連合の取り組みが「全くわからない」と答えた人も少なくないことなどから、労働組合・連合が取り組む様々な活動を世の中にわかりやすく発信し、認知を広げることがより重要であると考えます。

働く人の多くが仕事に関して何らかの不満があることや、連合と労働組合に期待することの結果などからも、改めて労働組合・連合の活動の重要性・必要性を肝に銘じ、引き続き、連合が『必ずそばにいる存在』となるための取り組みを進めてまいります。

---

#### ◆仕事に対する不満について(p.3- p.6)

- ・有職者の仕事・職場に対する不満 1位「賃金が低い」2位「会社の将来に不安がある」3位「仕事の内容」
- ・有職者が仕事・職場の不満解消のためにとった行動 1位「家族・友人に相談」2位「人事・上司に相談」  
「労働組合に相談した」は3.0%と低く、「何もしていない」は58.9%、  
行動していない理由1位は「不満の解消は諦めている」

---

#### ◆労働組合について(p.7- p.10)

- ・労働組合の認知率は90.5%、10代では73.0%、50代では98.0%  
働いたことがない人では66.2%
- ・「勤務先に労働組合がある」38.1%、従業員規模10人未満の職場では8.4%
- ・「勤務先で労働組合に加入している」有職者の25.9%、若い世代ほど「わからない」と回答

---

#### ◆連合について(p.11- p.21)

- ・連合の認知率は56.6%、女性49.4%、男性63.8%
- ・連合の認知経路 1位「TV」2位「新聞」、20代では「TV」に続いて「Twitter」が2位
- ・連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」
- ・連合のイメージ 1位「保守的な」2位「伝統的だ」3位「影響力のある」4位「真面目な」5位「堅実な」
- ・「連合は身近な存在だと思う」連合認知者の35.1%
- ・連合が身近な存在だと思う理由 1位「困ったときに頼れる」2位「社会の役に立っている」
- ・連合が身近な存在だと思わない理由  
1位「身近に関わっている人がいない」2位「どのような人が関わっているのか見えない」
- ・連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」2位「雇用・労働に関わる法制度の改善」  
10代の21.0%が「就職支援」に期待

## 調査結果

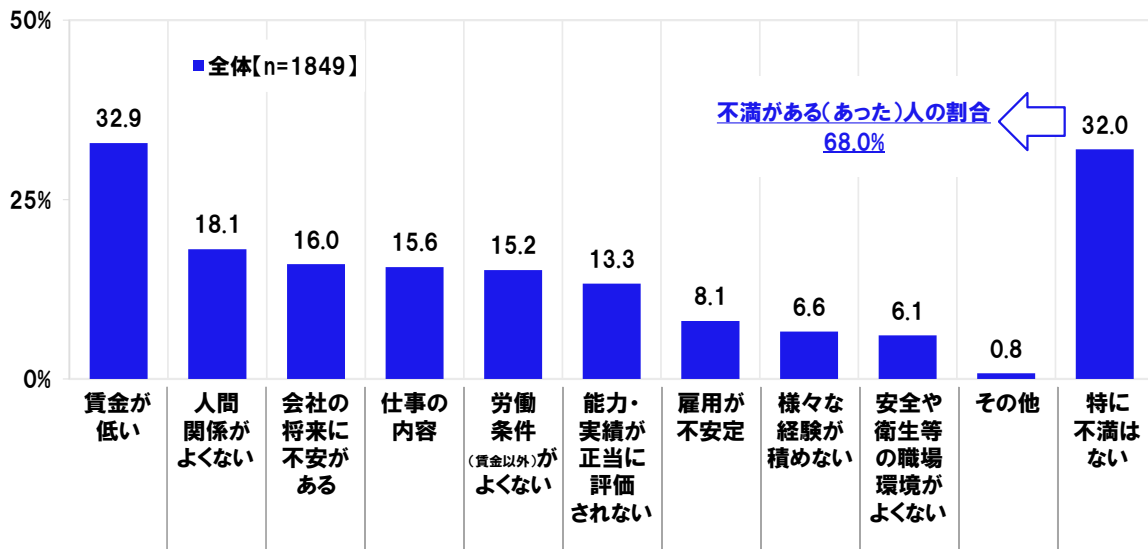
### 《仕事に対する不満について》

#### ◆有職者の仕事・職場に対する不満 1位「賃金が低い」2位「会社の将来に不安がある」3位「仕事の内容」

はじめに、就業経験のある人（現在働いている人、または過去に働いていた人）1,849 名に、仕事・職場に対する不満について聞いたところ、「賃金が低い」（32.9%）が最も高くなり、「人間関係がよくない」（18.1%）、「会社の将来に不安がある」（16.0%）、「仕事の内容」（15.6%）、「労働条件（賃金以外）がよくない」（15.2%）が続きました。また、不満がある（あった）人の割合は 68.0%（100% - 「特に不満はない」32.0%）でした。

#### 仕事・職場に対する不満 [複数回答形式]

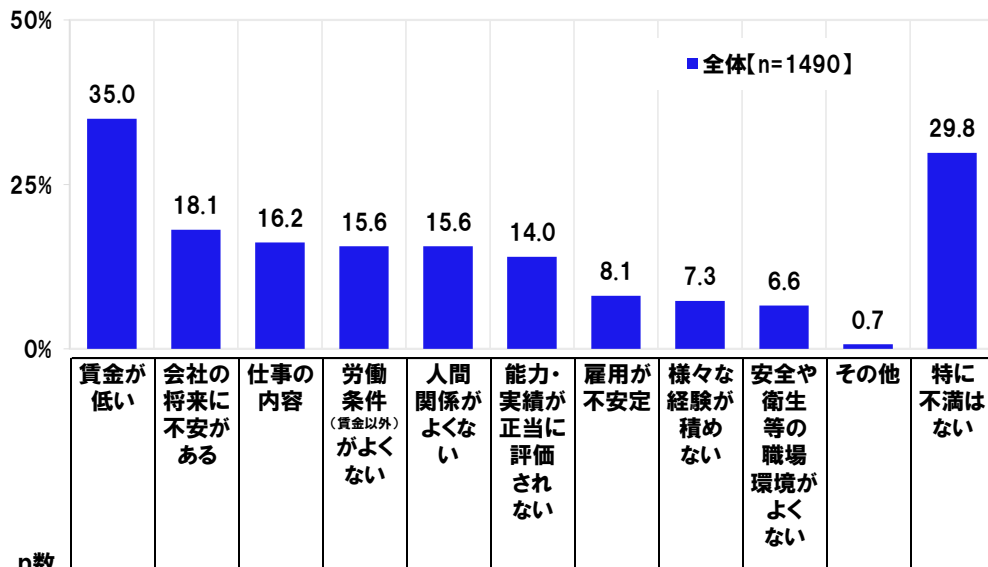
対象：現在働いている人、または過去に働いていた人



現在働いている人(1,490名)についてみると、「賃金が低い」(35.0%)が最も高くなり、「会社の将来に不安がある」(18.1%)、「仕事の内容」(16.2%)、「労働条件(賃金以外)がよくない」「人間関係がよくない」(いずれも15.6%)が続きました。また、不満がある人の割合は70.2%となりました。

世代別にみると、40代では「能力・実績が正当に評価されない」(19.6%)、60代以上では「雇用が不安定」(13.7%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。不満がある人の割合は30代(78.6%)が最も高くなり、40代(74.7%)、20代(70.7%)が続きました。

仕事・職場に対する不満〔複数回答形式〕 対象：現在働いている人



		n数	賃金が低い	会社の将来に不安がある	仕事の内容	労働条件(賃金以外)がよくない	人間関係がよくない	能力・実績が正当に評価されない	雇用が不安定	様々な経験が積めない	安全や衛生等の職場環境がよくない	その他	特に不満はない	不満がある
全体		1490	35.0	18.1	16.2	15.6	15.6	14.0	8.1	7.3	6.6	0.7	29.8	70.2
男女	女性	667	37.3	15.7	15.6	15.3	15.4	14.4	8.5	7.0	6.0	1.5	30.4	69.6
	男性	823	33.0	19.9	16.8	15.8	15.8	13.7	7.8	7.5	7.0	0.1	29.3	70.7
世代	10代	60	26.7	5.0	15.0	6.7	16.7	8.3	5.0	8.3	5.0	-	45.0	55.0
	20代	335	39.4	16.1	14.0	18.8	13.7	10.1	3.9	7.2	6.0	1.2	29.3	70.7
	30代	346	35.8	22.8	19.4	16.8	15.6	14.5	9.8	11.3	8.1	1.2	21.4	78.6
	40代	332	38.0	21.1	20.8	16.6	19.6	19.6	11.7	6.3	9.3	0.6	25.3	74.7
	50代	315	30.2	17.8	13.3	12.7	15.6	14.3	5.7	5.7	3.5	-	35.9	64.1
	60代以上	102	27.5	6.9	7.8	11.8	8.8	9.8	13.7	2.0	4.9	1.0	47.1	52.9
男女・世代	10代女性	33	24.2	6.1	12.1	3.0	15.2	3.0	6.1	6.1	3.0	-	42.4	57.6
	20代女性	167	43.1	10.8	13.8	19.2	12.0	9.0	3.0	7.2	4.8	1.8	30.5	69.5
	30代女性	154	40.9	24.0	18.8	18.8	17.5	16.9	11.7	10.4	11.0	2.6	19.5	80.5
	40代女性	145	37.9	17.9	20.7	13.8	20.7	21.4	12.4	5.5	6.2	1.4	26.9	73.1
	50代女性	128	31.3	14.1	12.5	11.7	12.5	14.8	5.5	6.3	1.6	-	39.1	60.9
	60代以上女性	40	27.5	10.0	5.0	12.5	12.5	10.0	17.5	2.5	7.5	2.5	47.5	52.5
	10代男性	27	29.6	3.7	18.5	11.1	18.5	14.8	3.7	11.1	7.4	-	48.1	51.9
	20代男性	168	35.7	21.4	14.3	18.5	15.5	11.3	4.8	7.1	7.1	0.6	28.0	72.0
	30代男性	192	31.8	21.9	19.8	15.1	14.1	12.5	8.3	12.0	5.7	-	22.9	77.1
	40代男性	187	38.0	23.5	20.9	18.7	18.7	18.2	11.2	7.0	11.8	-	24.1	75.9
50代男性	187	29.4	20.3	13.9	13.4	17.6	13.9	5.9	5.3	4.8	-	33.7	66.3	
60代以上男性	62	27.4	4.8	9.7	11.3	6.5	9.7	11.3	1.6	3.2	-	46.8	53.2	

\*属性ごとの1位はオレンジ塗り、「不満がある」の世代別TOP3は黄色塗り

(%)

業種別にみると、[不動産業、物品賃貸業]では「雇用が不安定」(20.0%)、[医療、福祉]では「賃金が低い」(46.7%)、[公務]では「仕事の内容」(27.4%)が全体と比べて 10 ポイント以上高くなり、[建設業]では「会社の将来に不安がある」(27.8%)、「労働条件(賃金以外)がよくない」(25.3%)、「人間関係がよくない」(21.5%)、[情報通信業]では「賃金が低い」(43.4%)、[運輸業、郵便業]では「安全や衛生等の職場環境がよくない」(12.0%)、[金融業、保険業]では「仕事の内容」(22.8%)が全体と比べて 5 ポイント以上高くなりました。また、不満がある人の割合は[医療、福祉](77.6%)が最も高くなり、[情報通信業](76.3%)、[建設業](75.9%)が続きました。

**仕事・職場に対する不満 [複数回答形式] 対象:現在働いている人**

		n数	賃金が低い	会社の将来に不安がある	仕事の内容	労働条件(賃金以外)がよくない	人間関係がよくない	能力・実績が正当に評価されない	雇用が不安定	様々な経験が積めない	安全や衛生等の職場環境がよくない	その他	特に不満はない	不満がある
<b>全体</b>		1490	35.0	18.1	16.2	15.6	15.6	14.0	8.1	7.3	6.6	0.7	29.8	70.2
<b>業種</b>	建設業	79	30.4	27.8	11.4	25.3	21.5	11.4	7.6	3.8	8.9	-	24.1	75.9
	製造業	230	31.7	21.7	19.1	15.7	17.8	17.4	6.5	9.6	7.0	0.4	28.3	71.7
	情報通信業	76	43.4	14.5	18.4	17.1	14.5	13.2	9.2	7.9	5.3	-	23.7	76.3
	運輸業、郵便業	83	33.7	19.3	12.0	16.9	12.0	15.7	10.8	10.8	12.0	-	28.9	71.1
	卸売業、小売業	172	36.6	16.9	18.0	13.4	10.5	13.4	7.6	4.1	3.5	1.2	33.1	66.9
	金融業、保険業	57	24.6	17.5	22.8	7.0	17.5	15.8	5.3	8.8	1.8	-	38.6	61.4
	不動産業、物品賃貸業	45	31.1	24.4	15.6	11.1	15.6	11.1	20.0	6.7	6.7	-	33.3	66.7
	宿泊業、飲食サービス業	94	25.5	10.6	8.5	16.0	14.9	10.6	5.3	6.4	6.4	3.2	43.6	56.4
	生活関連サービス業、娯楽業	49	38.8	22.4	8.2	6.1	8.2	6.1	6.1	6.1	8.2	-	28.6	71.4
	教育、学習支援	73	28.8	16.4	8.2	13.7	11.0	11.0	5.5	1.4	5.5	-	32.9	67.1
	医療、福祉	214	46.7	18.7	20.1	18.2	19.2	17.8	5.1	8.4	8.9	1.4	22.4	77.6
	サービス業	183	36.1	16.4	19.1	18.0	17.5	10.9	10.9	7.7	5.5	1.1	32.2	67.8
	公務	62	33.9	8.1	27.4	11.3	16.1	21.0	11.3	6.5	4.8	-	33.9	66.1
その他	73	28.8	16.4	1.4	13.7	13.7	11.0	12.3	11.0	6.8	-	23.3	76.7	
<b>女性・業種</b>	建設業	19	36.8	47.4	10.5	31.6	26.3	10.5	21.1	5.3	10.5	-	26.3	73.7
	製造業	76	38.2	7.9	15.8	17.1	17.1	21.1	7.9	11.8	7.9	1.3	28.9	71.1
	情報通信業	22	54.5	27.3	27.3	22.7	13.6	22.7	18.2	9.1	4.5	-	9.1	90.9
	運輸業、郵便業	16	56.3	25.0	12.5	18.8	12.5	18.8	12.5	18.8	6.3	-	18.8	81.2
	卸売業、小売業	91	31.9	17.6	15.4	13.2	11.0	13.2	7.7	3.3	5.5	2.2	36.3	63.7
	金融業、保険業	25	32.0	12.0	28.0	4.0	16.0	12.0	4.0	4.0	4.0	-	40.0	60.0
	不動産業、物品賃貸業	23	39.1	26.1	13.0	13.0	17.4	17.4	26.1	8.7	13.0	-	21.7	78.3
	宿泊業、飲食サービス業	51	23.5	5.9	7.8	7.8	13.7	5.9	-	2.0	-	3.9	51.0	49.0
	生活関連サービス業、娯楽業	34	35.3	26.5	5.9	5.9	11.8	2.9	5.9	8.8	5.9	-	32.4	67.6
	教育、学習支援	36	36.1	8.3	8.3	16.7	8.3	13.9	5.6	-	5.6	-	36.1	63.9
	医療、福祉	146	45.9	16.4	21.9	20.5	20.5	19.9	4.8	8.9	7.5	2.1	23.3	76.7
	サービス業	87	33.3	11.5	14.9	14.9	12.6	6.9	8.0	4.6	4.6	2.3	35.6	64.4
	公務	20	30.0	15.0	15.0	15.0	20.0	20.0	25.0	15.0	5.0	-	25.0	75.0
その他	21	33.3	14.3	4.8	4.8	14.3	14.3	19.0	9.5	4.8	-	14.3	85.7	
<b>男性・業種</b>	建設業	60	28.3	21.7	11.7	23.3	20.0	11.7	3.3	3.3	8.3	-	23.3	76.7
	製造業	154	28.6	28.6	20.8	14.9	18.2	15.6	5.8	8.4	6.5	-	27.9	72.1
	情報通信業	54	38.9	9.3	14.8	14.8	14.8	9.3	5.6	7.4	5.6	-	29.6	70.4
	運輸業、郵便業	67	28.4	17.9	11.9	16.4	11.9	14.9	10.4	9.0	13.4	-	31.3	68.7
	卸売業、小売業	81	42.0	16.0	21.0	13.6	9.9	13.6	7.4	4.9	1.2	-	29.6	70.4
	金融業、保険業	32	18.8	21.9	18.8	9.4	18.8	18.8	6.3	12.5	-	-	37.5	62.5
	不動産業、物品賃貸業	22	22.7	22.7	18.2	9.1	13.6	4.5	13.6	4.5	-	-	45.5	54.5
	宿泊業、飲食サービス業	43	27.9	16.3	9.3	25.6	16.3	16.3	11.6	11.6	14.0	2.3	34.9	65.1
	生活関連サービス業、娯楽業	15	46.7	13.3	13.3	6.7	-	13.3	6.7	-	13.3	-	20.0	80.0
	教育、学習支援	37	21.6	24.3	8.1	10.8	13.5	8.1	5.4	2.7	5.4	-	29.7	70.3
	医療、福祉	68	48.5	23.5	16.2	13.2	16.2	13.2	5.9	7.4	11.8	-	20.6	79.4
	サービス業	96	38.5	20.8	22.9	20.8	21.9	14.6	13.5	10.4	6.3	-	29.2	70.8
	公務	42	35.7	4.8	33.3	9.5	14.3	21.4	4.8	2.4	4.8	-	38.1	61.9
その他	52	26.9	17.3	-	17.3	13.5	9.6	9.6	11.5	7.7	-	26.9	73.1	

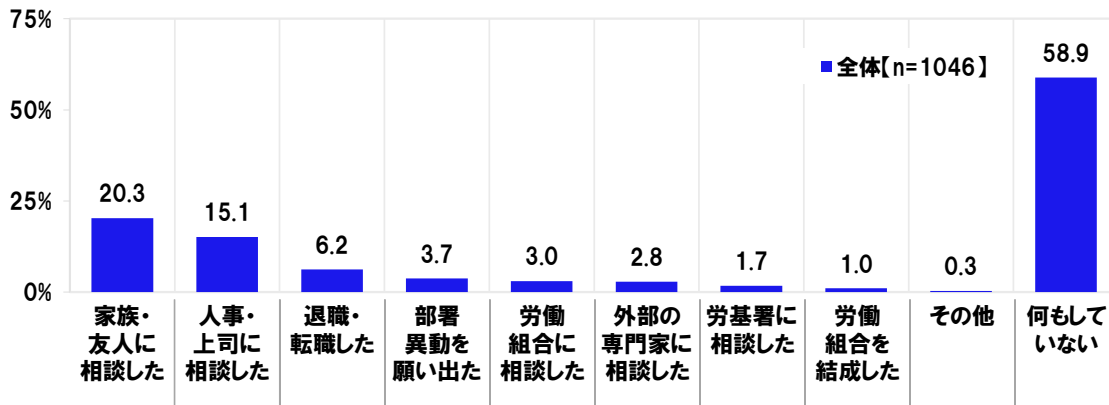
\*属性ごとの1位はオレンジ塗り、「不満がある」の業種別TOP3は黄色塗り

(%)

**◆有職者が仕事・職場の不満解消のためにとった行動 1位「家族・友人に相談」2位「人事・上司に相談」  
「労働組合に相談した」は3.0%と低く、「何もしていない」は58.9%、  
行動していない理由1位は「不満の解消は諦めている」**

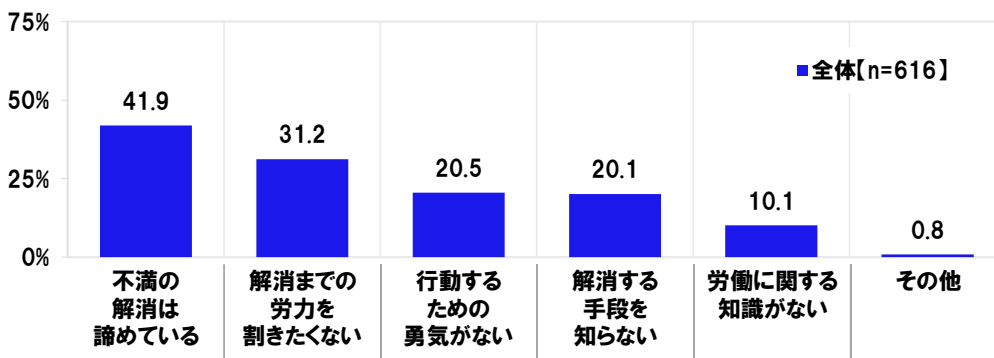
現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人(1,046名)に、仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか聞いたところ、「家族・友人に相談した」(20.3%)が最も高くなり、「人事・上司に相談した」(15.1%)、「退職・転職した」(6.2%)、「部署異動を願い出た」(3.7%)、「労働組合に相談した」(3.0%)が続きました。「何もしていない」は58.9%となり、半数以上の人仕事上の不満を抱えたまま、何も行動できていないことがわかりました。

仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか [複数回答形式]  
対象:現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人



現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人(616名)に、行動していない理由を聞いたところ、「不満の解消は諦めている」(41.9%)が最も高くなり、「解消までの労力を割きたくない」(31.2%)、「行動するための勇気がない」(20.5%)が続きました。次いで、「解消する手段を知らない」(20.1%)、「労働に関する知識がない」(10.1%)となり、知識不足が原因で行動に至らないケースもあることがわかりました。

仕事・職場の不満を解消するために行動していない理由 [複数回答形式]  
対象:現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人



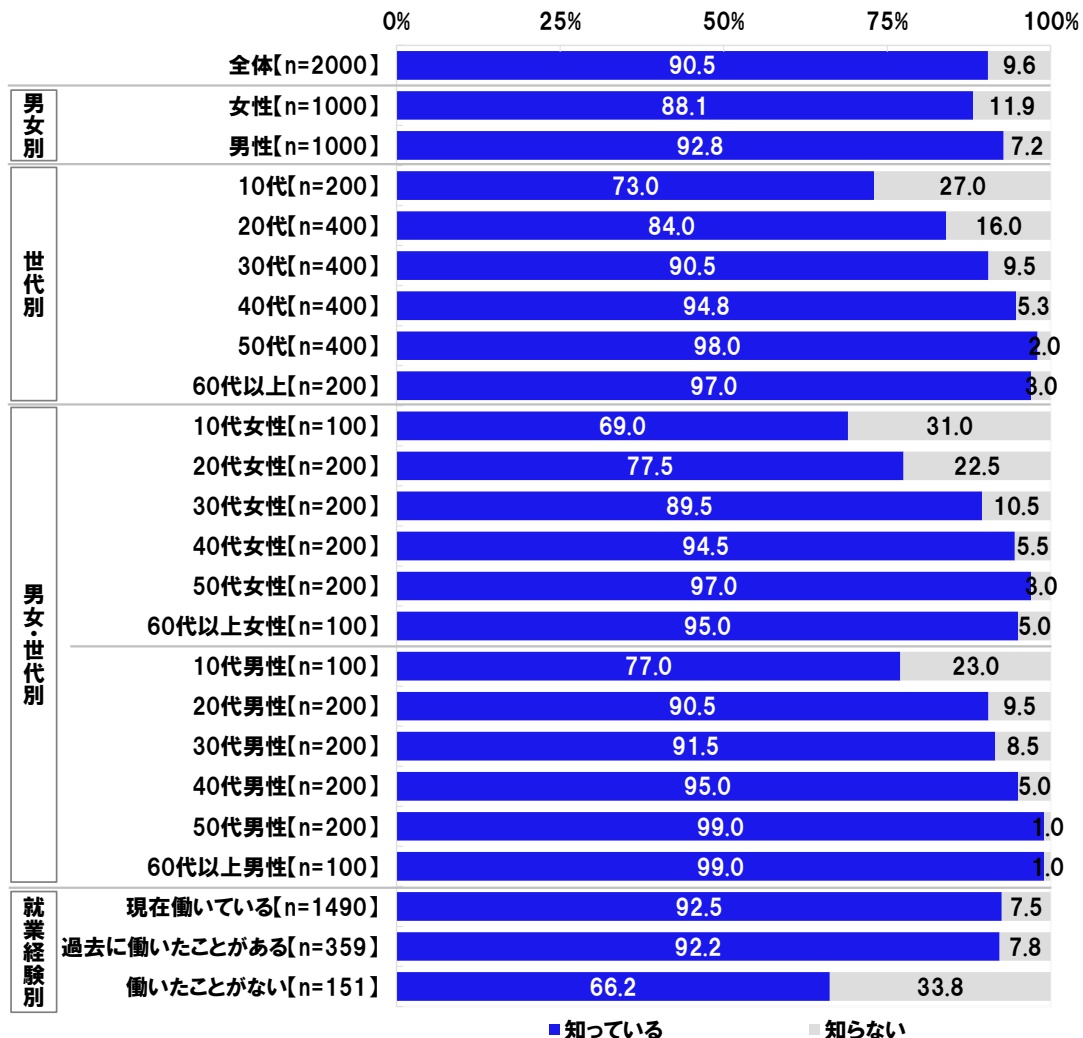
**《労働組合について》**
**◆労働組合の認知率は90.5%、10代では73.0%、50代では98.0%  
働いたことがない人では66.2%**

全国の15歳以上の男女2,000名(全回答者)に、『“労働組合”は、働く人が主体となって、賃金や働く環境を向上させるために、経営者などに対して法律上対等な立場で交渉ができる団体である』と説明したうえで、労働組合を知っているか聞いたところ、「知っている」は90.5%、「知らない」は9.6%となりました。

男女別にみると、「知っている」と回答した人の割合は、男性では92.8%と、女性(88.1%)と比べて4.7ポイント高くなりました。

世代別にみると、世代が高くなるほど労働組合の認知率も高くなることがわかりました。

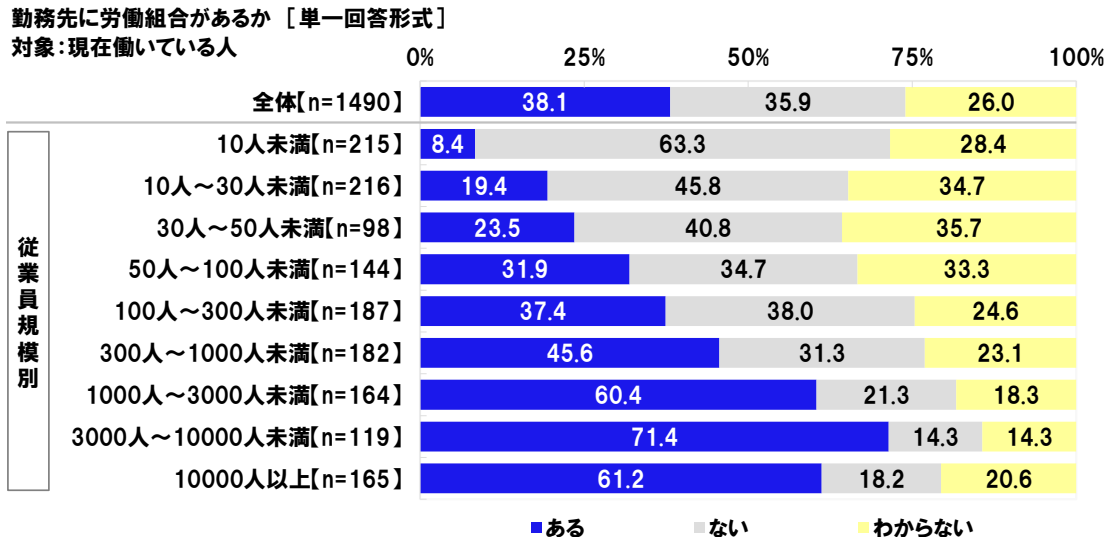
就業経験別にみると、働いたことがない人では「知っている」と回答した人の割合が66.2%と、現在働いている人(92.5%)や過去に働いたことがある人(92.2%)と比べて25ポイント以上低くなりました。

**労働組合を知っているか [単一回答形式]**


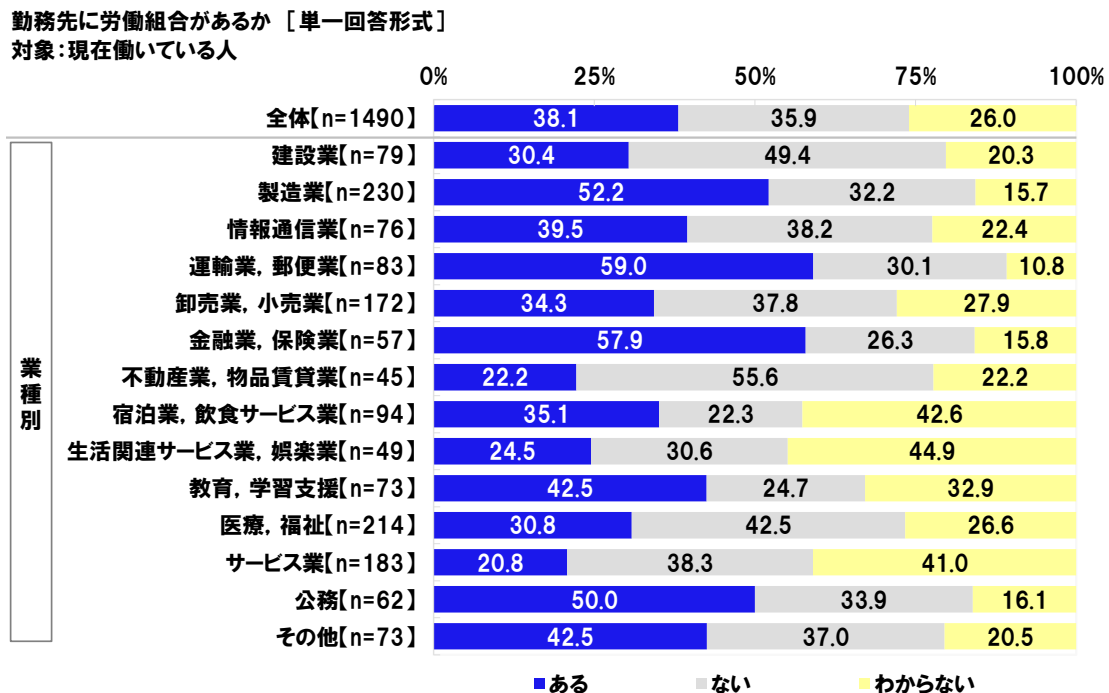
**◆「勤務先に労働組合がある」38.1%、従業員規模 10 人未満の職場では 8.4%**

現在働いている人(1,490 名)に、勤務先に労働組合があるか聞いたところ、「ある」は 38.1%、「ない」は 35.9%、「わからない」は 26.0%となりました。

従業員規模別にみると、「ある」と回答した人の割合は、従業員規模 3000 人～10000 人未満までは従業員規模が大きくなるほど高くなる傾向がみられました。また、従業員規模 10 人未満(8.4%)では、「ある」と回答した人の割合が 1 割に満たない結果となりました。



業種別にみると、「ある」と回答した人の割合は、[運輸業, 郵便業](59.0%)が最も高くなり、[金融業, 保険業](57.9%)、[製造業](52.2%)が続きました。

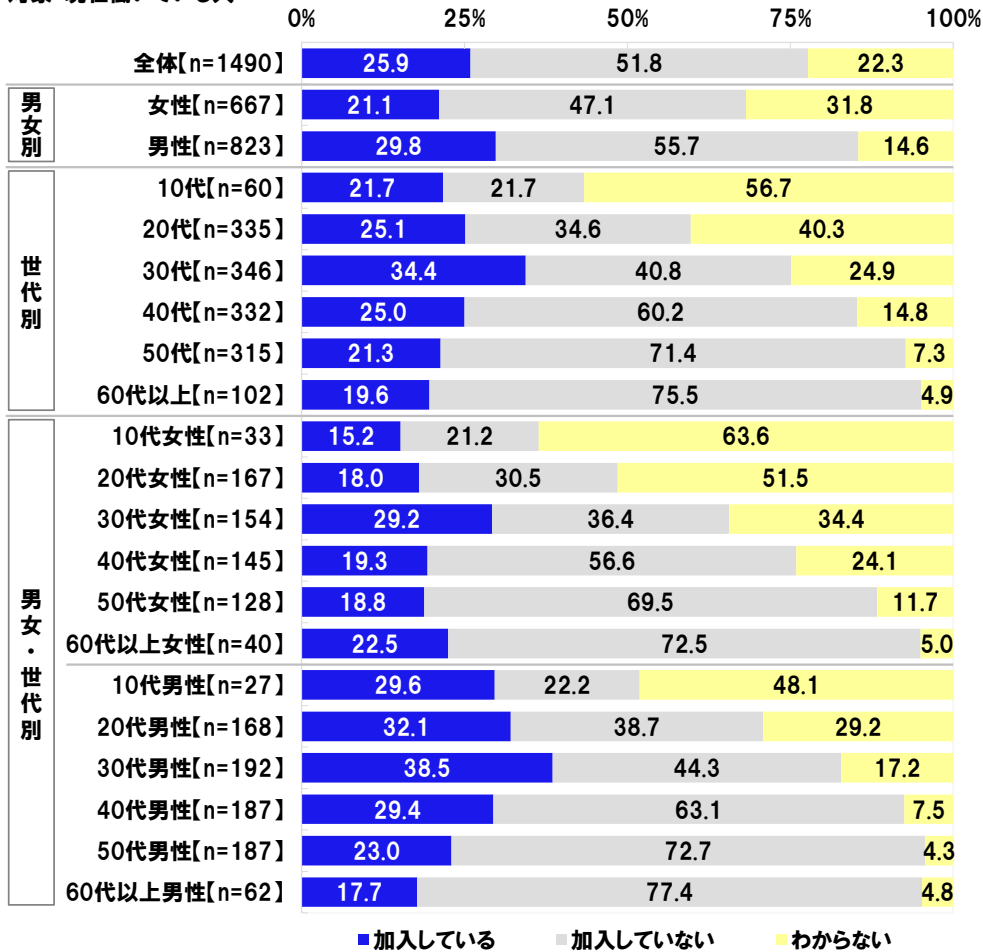




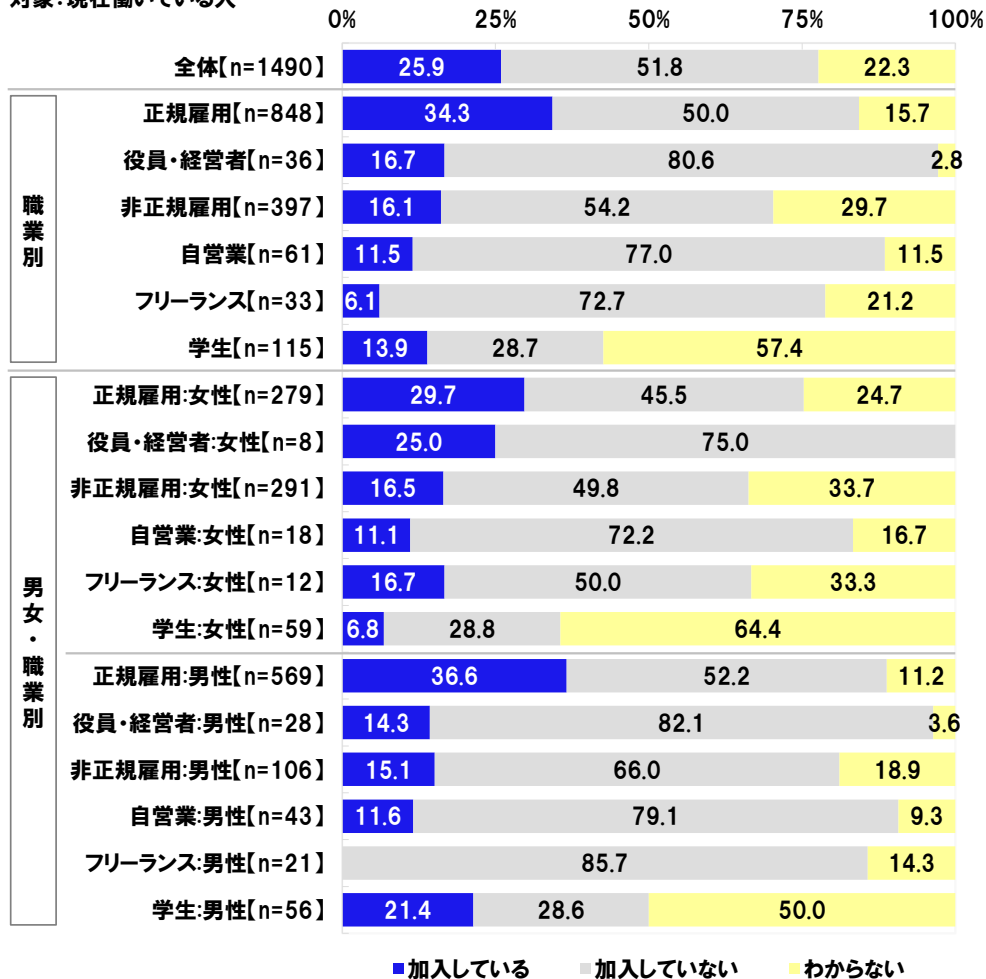
**◆「勤務先で労働組合に加入している」有職者の25.9%、若い世代ほど「わからない」と回答**

現在働いている人(1,490名)に、勤務先で労働組合に加入しているか聞いたところ、「加入している」は25.9%、「加入していない」は51.8%、「わからない」は22.3%となりました。

世代別にみると、若い世代ほど「わからない」と回答した人の割合が高く、10代では56.7%と最も高くなりました。

**勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]**
**対象：現在働いている人**


職業別にみると、正規雇用で働いている人(正社員・正職員)では、自身が労働組合に加入しているかどうか「わからない」が 15.7%となったのに対し、非正規雇用で働いている人では 29.7%、学生では 57.4%と、自身の加入状況について把握していない割合が高くなりました。

**勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]**
**対象:現在働いている人**


**《連合について》**
**◆連合の認知率は56.6%、女性49.4%、男性63.8%**

全回答者(2,000名)に、『日本労働組合総連合会(通称:連合)は、日本最大の労働組合の中央組織(会長:芳野友子、加盟組合員:約700万人)である』と説明したうえで、連合を知っているか聞いたところ、「どのような組織か知っている」は19.8%、「名前を聞いたことがある」は36.8%となり、合計した『知っている(計)』は56.6%となりました。また、「知らない」は43.4%でした。

男女別にみると、『知っている(計)』の割合は、男性では63.8%と、女性(49.4%)と比べて14.4ポイント高くなりました。「どのような組織か知っている」の割合(女性12.1%、男性27.5%)でも男女間に大きな差がみられました。

世代別にみると、『知っている(計)』の割合は、60代以上(70.0%)が最も高くなりました。

**日本労働組合総連合会(通称:連合)を知っているか [単一回答形式]**

		0%	25%	50%	75%	100%	知っ てい る (計)
全体[n=2000]		19.8	36.8	43.4			56.6
男女別	女性[n=1000]	12.1	37.3	50.6			49.4
	男性[n=1000]	27.5	36.3	36.2			63.8
世代別	10代[n=200]	14.5	38.0	47.5			52.5
	20代[n=400]	16.8	34.0	49.3			50.8
	30代[n=400]	21.5	35.5	43.0			57.0
	40代[n=400]	20.0	33.8	46.3			53.8
	50代[n=400]	19.8	40.5	39.8			60.3
	60代以上[n=200]	27.5	42.5	30.0			70.0
男女世代別	10代女性[n=100]	10.0	41.0	49.0			51.0
	20代女性[n=200]	11.5	32.0	56.5			43.5
	30代女性[n=200]	16.0	35.5	48.5			51.5
	40代女性[n=200]	10.0	36.0	54.0			46.0
	50代女性[n=200]	9.0	39.5	51.5			48.5
	60代以上女性[n=100]	18.0	46.0	36.0			64.0
	10代男性[n=100]	19.0	35.0	46.0			54.0
	20代男性[n=200]	22.0	36.0	42.0			58.0
	30代男性[n=200]	27.0	35.5	37.5			62.5
	40代男性[n=200]	30.0	31.5	38.5			61.5
	50代男性[n=200]	30.5	41.5	28.0			72.0
	60代以上男性[n=100]	37.0	39.0	24.0			76.0
就業経験別	現在働いている[n=1490]	22.5	35.2	42.3			57.7
	過去に働いたことがある[n=359]	11.1	43.5	45.4			54.6
	働いたことはない[n=151]	13.9	37.1	49.0			51.0

■ どのような組織か知っている ■ 名前を聞いたことがある ■ 知らない

**◆連合の認知経路 1位「TV」2位「新聞」、20代では「TV」に続いて「Twitter」が2位**

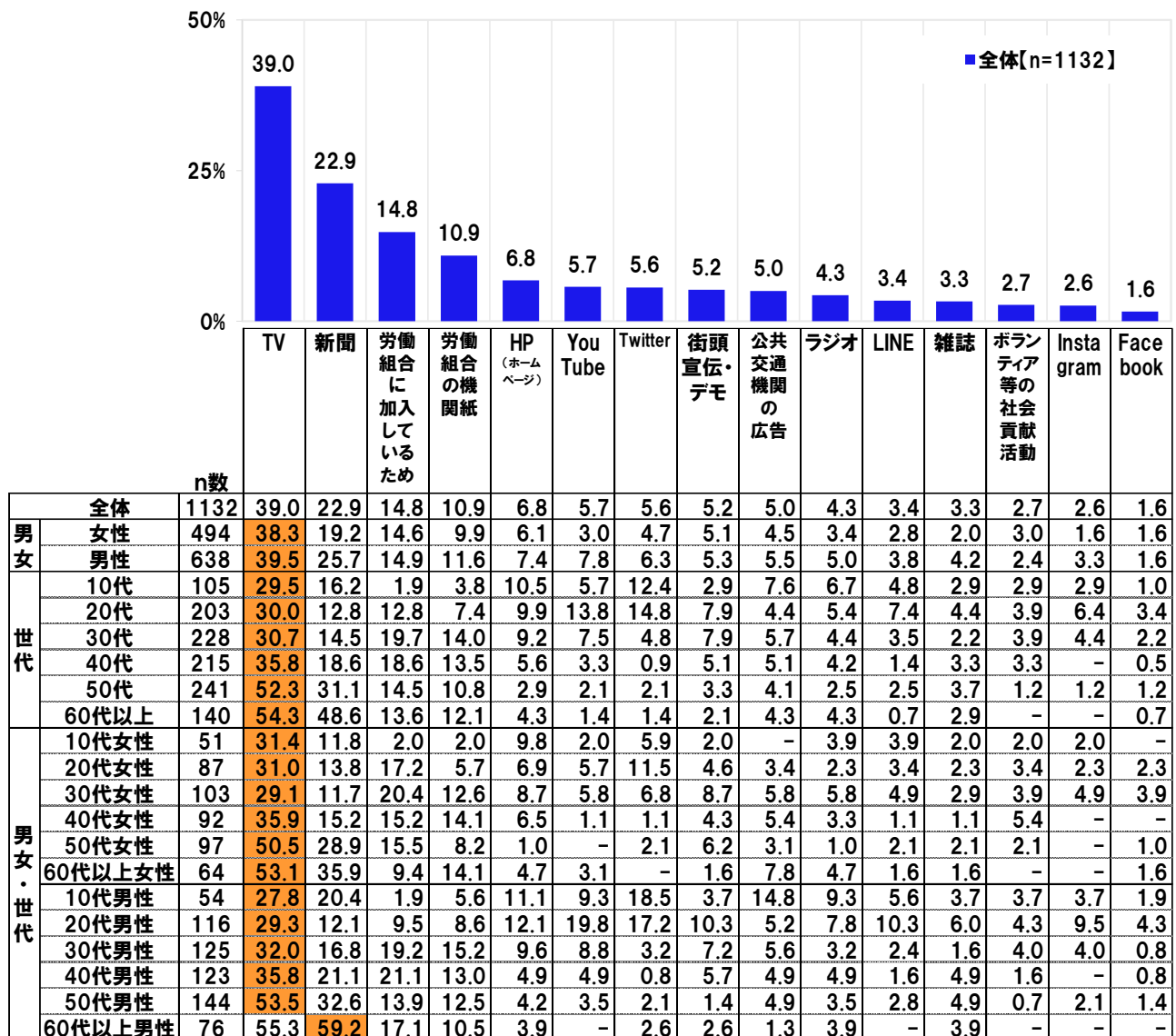
連合について、どこで認知した人が多いのでしょうか。

連合を知っている人(1,132名)に、連合を何で知ったか聞いたところ、「TV」(39.0%)が最も高くなり、「新聞」(22.9%)、「労働組合に加入しているため」(14.8%)、「労働組合の機関紙」(10.9%)、「HP(ホームページ)」(6.8%)が続きました。

世代別にみると、10代では「TV」(29.5%)と「新聞」(16.2%)に続いて「Twitter」(12.4%)が3位、20代では「TV」(30.0%)に続いて「Twitter」(14.8%)が2位、「YouTube」(13.8%)が3位となりました。若年層には、SNSや動画サイトの情報をきっかけに連合について知るようになった人が多いようです。

日本労働組合総連合会(通称:連合)を何で知ったか [複数回答形式] ※上位15位までを表示

対象:連合を知っている人



\*1位はオレンジ塗り

(%)

**◆連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」**

連合を知っている人(1,132名)に、連合の取り組みとして知っているものを聞いたところ、「春闘(春季生活闘争)の実施」(26.7%)が最も高くなり、「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(24.7%)、「非正規雇用の問題解決に向けた取り組み」(16.8%)、「政治・選挙活動」(16.5%)、「社会保障・税制・教育制度に関する取り組み」(15.7%)が続きました。

男女別にみると、「政治・選挙活動」(女性 11.5%、男性 20.4%)や「政府・政党などへの政策・制度要請」(女性 10.7%、男性 18.8%)などでは、男女間に大きな差がみられました。

世代別にみると、10代と20代、40代では、「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(10代 21.0%、20代 19.2%、40代 27.0%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)の取り組みとして知っているもの [複数回答形式]  
対象:連合を知っている人

\*1位はオレンジ塗り

	0%	25%	50%	女性	男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
				(n=494)	(n=638)	(n=105)	(n=203)	(n=228)	(n=215)	(n=241)	(n=140)
春闘(春季生活闘争)の実施		26.7		22.9	29.6	9.5	12.3	21.5	27.0	39.0	47.1
労働組合づくり支援・労働相談の実施		24.7		25.7	24.0	21.0	19.2	19.3	27.0	25.7	39.3
非正規雇用の問題解決に向けた取り組み		16.8		18.2	15.7	15.2	16.3	12.7	16.3	17.0	25.7
政治・選挙活動		16.5		11.5	20.4	13.3	9.4	14.9	14.9	21.2	26.4
社会保障・税制・教育制度に関する取り組み		15.7		18.4	13.6	13.3	11.3	15.8	14.4	17.0	23.6
政府・政党などへの政策・制度要請		15.3		10.7	18.8	9.5	14.3	11.4	13.0	19.1	24.3
労働政策に関する政府審議会への参加		14.4		13.2	15.4	13.3	9.9	14.0	14.4	16.2	19.3
労働組合の国際的連携の推進		11.6		11.7	11.4	6.7	13.8	10.5	12.6	11.6	12.1
ジェンダー平等・多様性の推進		10.7		12.6	9.2	11.4	16.7	9.2	7.4	9.1	11.4
フリーランスの法的保護に向けた取り組み		8.3		6.9	9.4	7.6	12.8	6.6	7.4	6.2	10.0
災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動		8.1		7.5	8.6	12.4	9.9	7.9	6.0	7.9	6.4
環境問題の解決に向けた取り組み		7.6		6.7	8.3	5.7	9.9	6.6	6.5	7.9	8.6
平和運動・核兵器廃絶への取り組み		7.3		7.3	7.4	8.6	7.9	7.9	5.6	8.7	5.0
大学等への出前授業の実施		4.7		3.4	5.6	6.7	6.4	7.5	3.3	3.3	0.7
その他	0.0			-	-	-	-	-	-	-	-
全くわからない		28.0		32.4	24.6	34.3	24.1	30.7	30.2	28.6	20.0

■全体[n=1132]

日本労働組合総連合会(通称:連合)の取り組みとして  
 知っているもの〔複数回答形式〕  
 対象:連合を知っている人

\*1位はオレンジ塗り

	10代 女性 (n=51)	20代 女性 (n=87)	30代 女性 (n=103)	40代 女性 (n=92)	50代 女性 (n=97)	60代 以上 女性 (n=64)	10代 男性 (n=54)	20代 男性 (n=116)	30代 男性 (n=125)	40代 男性 (n=123)	50代 男性 (n=144)	60代 以上 男性 (n=76)
春闘(春季生活闘争)の実施	2.0	11.5	19.4	25.0	30.9	45.3	16.7	12.9	23.2	28.5	44.4	48.7
労働組合づくり支援・労働相談の実施	19.6	17.2	22.3	28.3	23.7	46.9	22.2	20.7	16.8	26.0	27.1	32.9
非正規雇用の問題解決に向けた取り組み	17.6	19.5	11.7	16.3	17.5	31.3	13.0	13.8	13.6	16.3	16.7	21.1
政治・選挙活動	11.8	3.4	12.6	14.1	11.3	17.2	14.8	13.8	16.8	15.4	27.8	34.2
社会保障・税制・教育制度に関する取り組み	11.8	13.8	17.5	19.6	19.6	28.1	14.8	9.5	14.4	10.6	15.3	19.7
政府・政党などへの政策・制度要請	7.8	9.2	10.7	9.8	12.4	14.1	11.1	18.1	12.0	15.4	23.6	32.9
労働政策に関する政府審議会への参加	11.8	8.0	11.7	15.2	15.5	17.2	14.8	11.2	16.0	13.8	16.7	21.1
労働組合の国際的連携の推進	7.8	17.2	9.7	10.9	9.3	15.6	5.6	11.2	11.2	13.8	13.2	9.2
ジェンダー平等・多様性の推進	13.7	19.5	9.7	7.6	10.3	17.2	9.3	14.7	8.8	7.3	8.3	6.6
フリーランスの法的保護に向けた取り組み	2.0	11.5	3.9	6.5	4.1	14.1	13.0	13.8	8.8	8.1	7.6	6.6
災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動	11.8	6.9	6.8	7.6	6.2	7.8	13.0	12.1	8.8	4.9	9.0	5.3
環境問題の解決に向けた取り組み	5.9	4.6	6.8	7.6	6.2	9.4	5.6	13.8	6.4	5.7	9.0	7.9
平和運動・核兵器廃絶への取り組み	7.8	6.9	7.8	5.4	9.3	6.3	9.3	8.6	8.0	5.7	8.3	3.9
大学等への出前授業の実施	5.9	5.7	5.8	1.1	2.1	-	7.4	6.9	8.8	4.9	4.2	1.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全くわからない	39.2	31.0	39.8	27.2	35.1	20.3	29.6	19.0	23.2	32.5	24.3	19.7

**◆連合のイメージ 1位「保守的な」2位「伝統的だ」3位「影響力のある」4位「真面目な」5位「堅実な」**

連合を知っている人(1,132名)に、連合についてどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「保守的な」(18.8%)が最も高くなり、「伝統的だ」(17.5%)、「影響力のある」(15.2%)、「真面目な」(13.8%)、「堅実な」(13.6%)が続きました。



**日本労働組合総連合会(通称:連合)についてどのようなイメージを持っているか**
**\*1位はオレンジ塗り**
**[複数回答形式]**
**対象:連合を知っている人**

	10代 女性 (n=51)	20代 女性 (n=87)	30代 女性 (n=103)	40代 女性 (n=92)	50代 女性 (n=97)	60代 以上 女性 (n=64)	10代 男性 (n=54)	20代 男性 (n=116)	30代 男性 (n=125)	40代 男性 (n=123)	50代 男性 (n=144)	60代 以上 男性 (n=76)
保守的な	7.8	18.4	19.4	16.3	18.6	17.2	7.4	21.6	20.0	22.8	18.1	27.6
伝統的だ	7.8	14.9	18.4	23.9	15.5	21.9	11.1	15.5	14.4	17.1	21.5	22.4
影響力のある	13.7	3.4	15.5	18.5	15.5	29.7	16.7	17.2	7.2	15.4	15.3	21.1
真面目な	25.5	19.5	22.3	16.3	9.3	3.1	24.1	15.5	12.8	7.3	11.8	5.3
堅実な	9.8	18.4	20.4	16.3	6.2	14.1	24.1	17.2	12.0	9.8	11.1	7.9
熱意のある	7.8	10.3	12.6	14.1	18.6	17.2	9.3	11.2	8.0	13.0	11.8	2.6
信頼できる	13.7	8.0	10.7	8.7	8.2	14.1	13.0	13.8	13.6	10.6	8.3	13.2
頼れる	9.8	9.2	15.5	13.0	11.3	20.3	16.7	12.1	7.2	6.5	6.3	11.8
庶民的な	7.8	6.9	5.8	8.7	10.3	15.6	14.8	11.2	5.6	7.3	9.0	9.2
対応力のある	7.8	8.0	6.8	6.5	12.4	10.9	9.3	11.2	4.0	7.3	7.6	6.6
安心感がある	7.8	4.6	11.7	9.8	7.2	10.9	13.0	8.6	11.2	2.4	6.3	5.3
たくましい	3.9	6.9	7.8	3.3	7.2	12.5	7.4	6.0	10.4	3.3	6.9	1.3
ダサイ	-	-	3.9	4.3	3.1	1.6	7.4	8.6	6.4	9.8	7.6	6.6
自分たち向けの	3.9	4.6	2.9	7.6	4.1	10.9	9.3	2.6	4.0	8.1	4.9	1.3
革新的だ	3.9	2.3	1.9	8.7	5.2	4.7	9.3	7.8	2.4	2.4	3.5	-
身近だ	2.0	2.3	3.9	1.1	4.1	3.1	3.7	8.6	4.8	5.7	2.1	2.6
落ち着いた	3.9	5.7	3.9	5.4	1.0	1.6	7.4	6.0	4.8	4.1	1.4	1.3
親しみやすい	2.0	5.7	2.9	2.2	1.0	1.6	3.7	8.6	2.4	4.9	2.8	2.6
知的な	15.7	8.0	1.9	-	1.0	-	9.3	5.2	4.0	-	1.4	1.3
グローバルな	3.9	6.9	2.9	2.2	2.1	3.1	7.4	5.2	4.0	0.8	-	2.6
やさしい	5.9	3.4	5.8	1.1	1.0	-	7.4	6.0	1.6	2.4	0.7	1.3
開放的な	3.9	3.4	1.9	1.1	2.1	3.1	7.4	4.3	4.0	0.8	2.1	1.3
生き生きとした	2.0	4.6	2.9	1.1	2.1	4.7	5.6	3.4	4.8	0.8	-	-
若々しい	-	2.3	1.9	2.2	1.0	3.1	3.7	4.3	3.2	0.8	0.7	2.6
憤ましい	2.0	1.1	3.9	-	2.1	1.6	5.6	4.3	2.4	1.6	-	-
等身大の	2.0	2.3	1.9	-	-	-	3.7	8.6	1.6	0.8	-	-
爽やかな	-	3.4	2.9	-	-	-	3.7	5.2	0.8	0.8	2.1	1.3
カジュアルな	-	3.4	1.9	-	-	1.6	1.9	6.0	0.8	0.8	0.7	-
その他	3.9	4.6	5.8	6.5	4.1	4.7	7.4	4.3	11.2	12.2	16.0	19.7

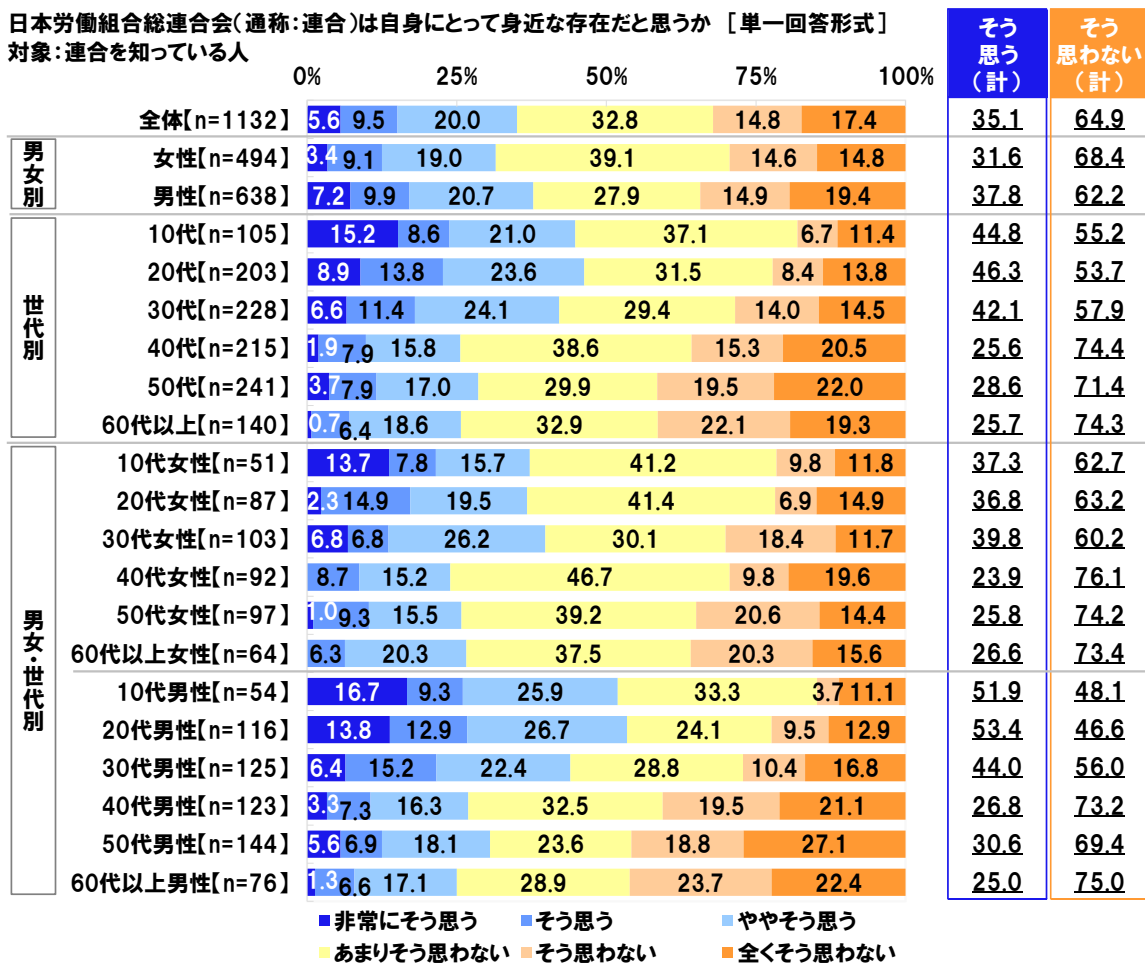


**◆「連合は身近な存在だと思う」連合認知者の35.1%**

連合を知っている人(1,132名)に、連合は自身にとって身近な存在だと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」が5.6%、「そう思う」が9.5%、「ややそう思う」が20.0%で、合計した『そう思う(計)』は35.1%、「全くそう思わない」が17.4%、「そう思わない」が14.8%、「あまりそう思わない」が32.8%で、合計した『そう思わない(計)』は64.9%となりました。

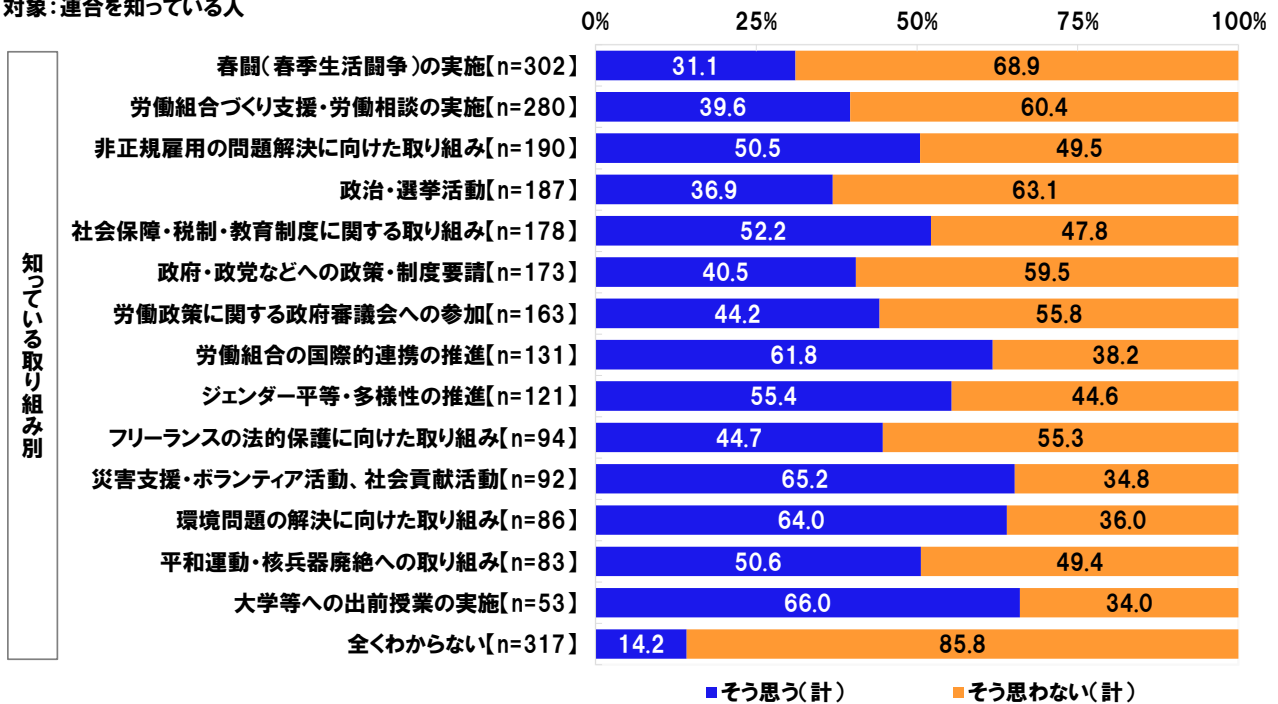
男女別にみると、『そう思う(計)』と回答した人の割合は、男性では37.8%と、女性(31.6%)と比べて6.2ポイント高くなりました。

世代別にみると、『そう思う(計)』と回答した人の割合は若い世代のほうが高い傾向がみられ、最も高い20代では46.3%でした。



連合が身近な存在だと思うかについて、知っている取り組み別にみると、『そう思う(計)』と回答した人の割合は、『大学等への出前授業の実施』(66.0%)が最も高く、『災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動』(65.2%)が2位となりました。

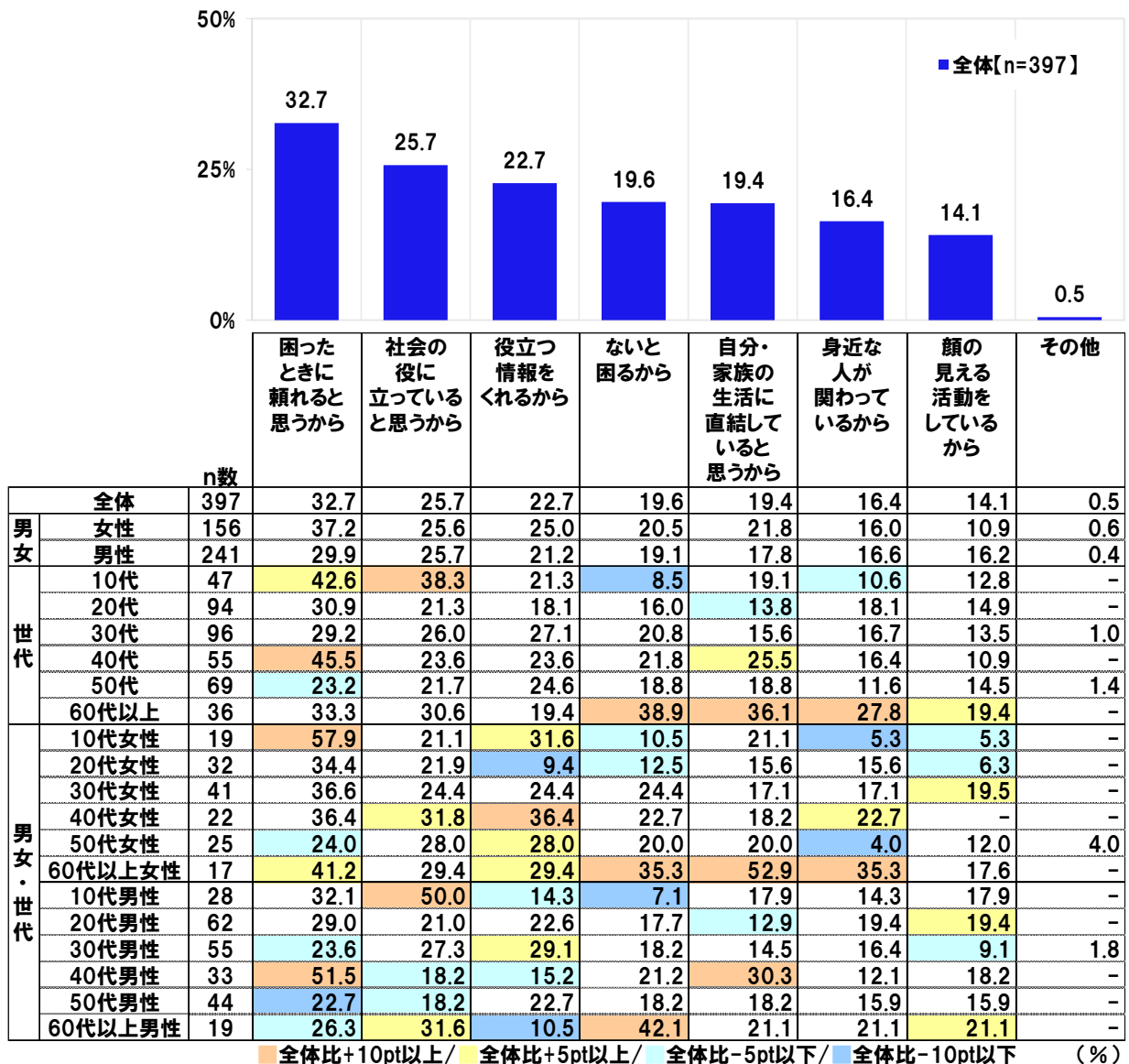
一方で、『そう思わない(計)』と回答した人の割合が最も高くなったのは、連合の取り組みが『全くわからない』と回答した人(85.8%)でした。

**日本労働組合総連合会(通称:連合)は自身にとって身近な存在だと思うか [単一回答形式]**
**対象: 連合を知っている人**


**◆連合が身近な存在だと思う理由 1位「困ったときに頼れる」2位「社会の役に立っている」**
**◆連合が身近な存在だと思わない理由**
**1位「身近に関わっている人がいない」2位「どのような人が関わっているのか見えない」**

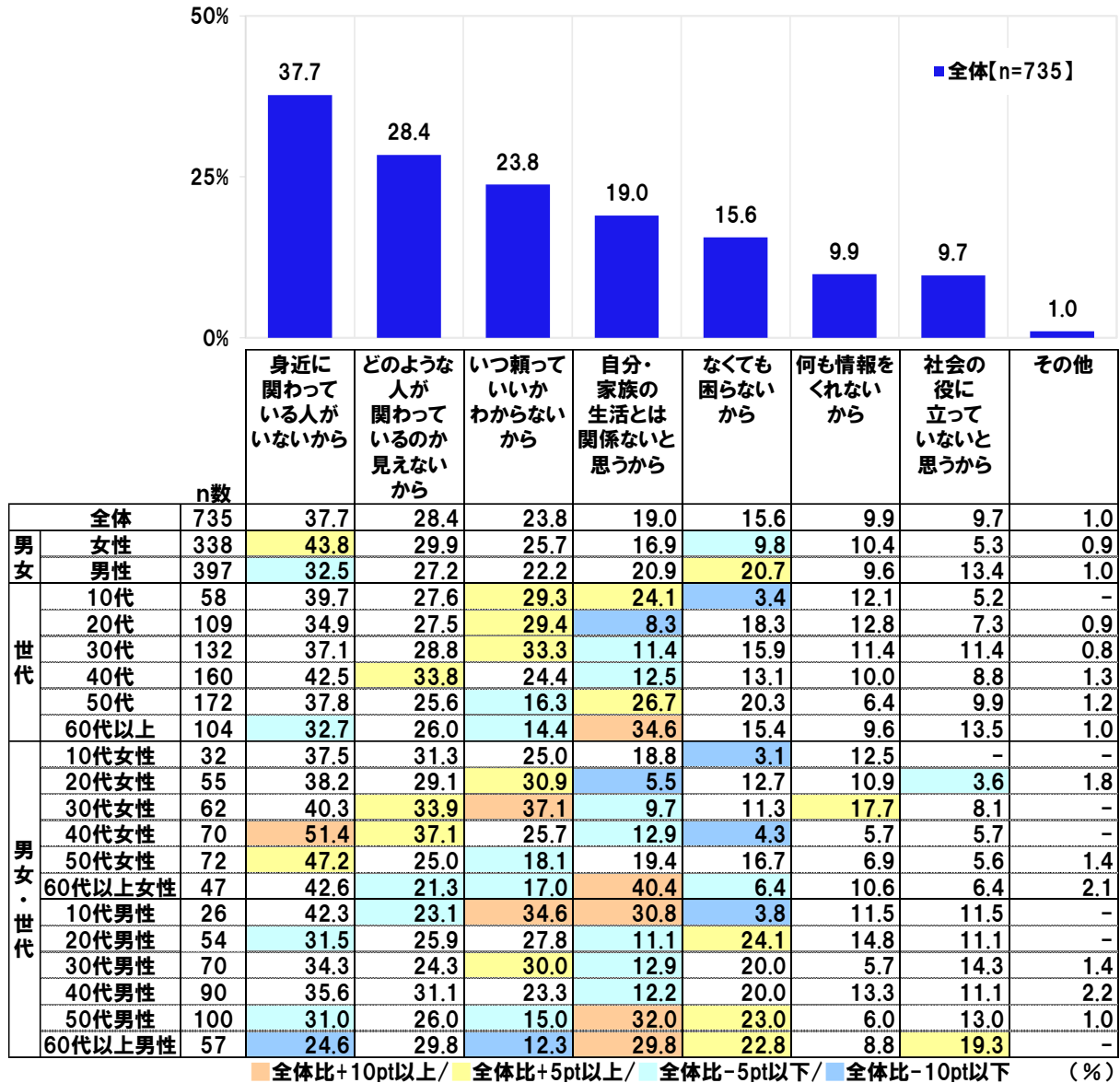
連合が身近な存在だと思う人(397名)に、その理由を聞いたところ、「困ったときに頼れると思うから」(32.7%)が最も高くなりました。トラブルに遭ったときなど、いざというときに頼りになる存在だと感じている人が多いようです。次いで高くなったのは、「社会の役に立っていると思うから」(25.7%)、「役立つ情報をくれるから」(22.7%)、「ないと困るから」(19.6%)、「自分・家族の生活に直結していると思うから」(19.4%)でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思う理由 [複数回答形式]  
 対象:連合が身近な存在だと思う人



他方、連合が身近な存在だと思わない人(735名)に、その理由を聞いたところ、「身近に関わっている人がいないから」(37.7%)が最も高くなり、「どのような人が関わっているのか見えないから」(28.4%)、「いつ頼っていいかわからないから」(23.8%)、「自分・家族の生活とは関係ないと思うから」(19.0%)、「なくても困らないから」(15.6%)が続きました。

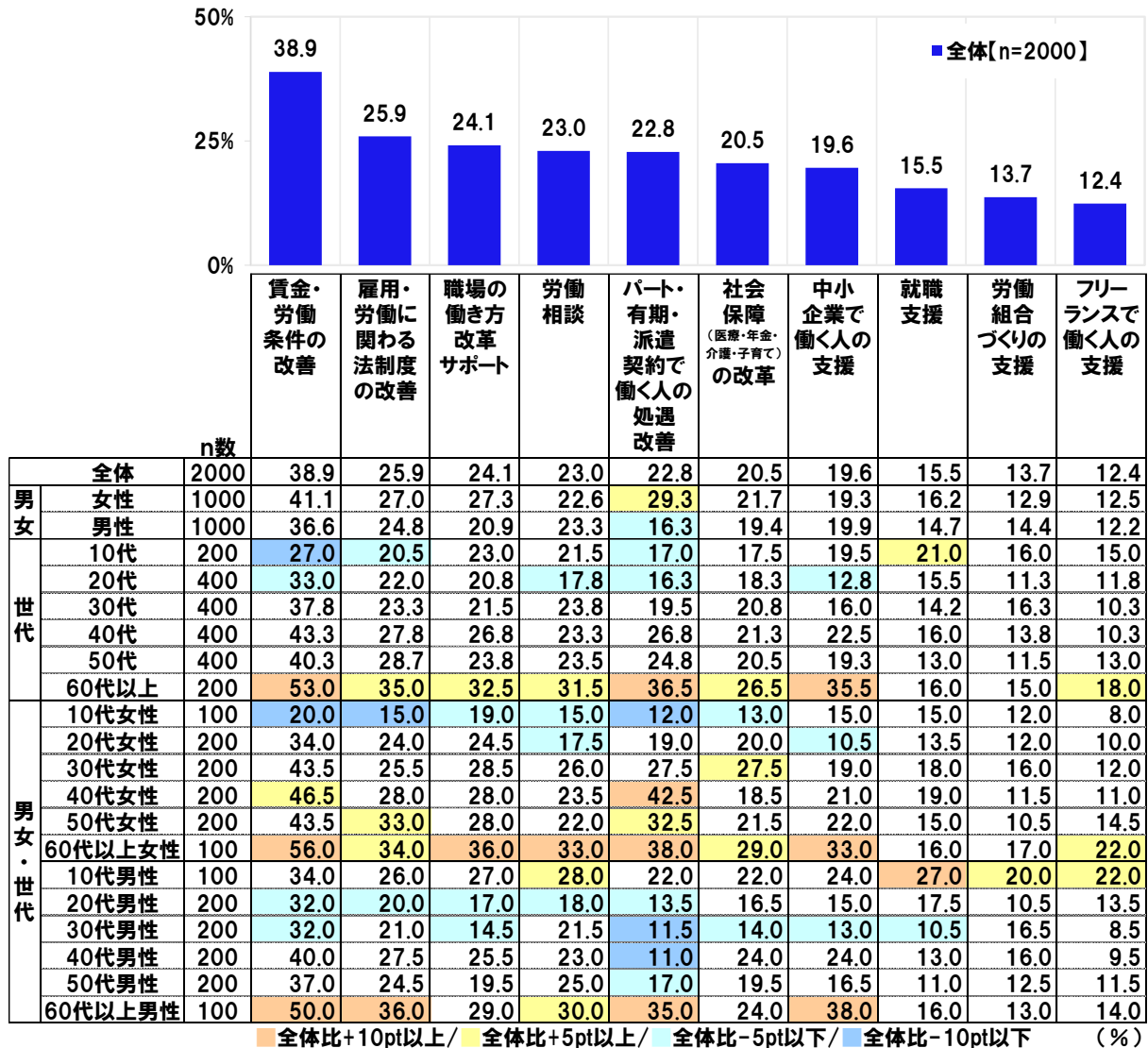
日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思わない理由 [複数回答形式]  
 対象:連合が身近な存在だと思わない人



◆**連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」2位「雇用・労働に関わる法制度の改善」**  
**10代の21.0%が「就職支援」に期待**

最後に、全回答者(2,000名)に、連合および労働組合に期待することを聞いたところ、「賃金・労働条件の改善」(38.9%)が最も高くなり、「雇用・労働に関わる法制度の改善」(25.9%)、「職場の働き方改革サポート」(24.1%)、「労働相談」(23.0%)、「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」(22.8%)が続きました。世代別にみると、10代では「就職支援」(21.0%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)、および労働組合に期待すること [複数回答形式] ※上位10位までを表示



注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、全ての内訳を合計しても100%とならない場合があります。

### ■■調査概要■■

- ◆調査タイトル : 連合および労働組合のイメージ調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする  
全国の15歳以上の男女
- ◆調査期間 : 2022年10月28日～10月31日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000サンプル

	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
男性	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	1000s
女性	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	1000s

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

### ■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「連合調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

### ■■本調査に関するお問合せ窓口■■

連合(日本労働組合総連合会)

総合運動推進局 運動企画局 担当:岡本  
TEL : 03-5295-0538  
Eメール : jtuc-undou-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

総合企画局 企画局 担当:澤田  
TEL : 03-5295-0510  
Eメール : jtuc-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

受付時間 : 10時00分～17時30分(月～金)

### ■■連合(日本労働組合総連合会) 概要■■

組織名 : 連合(日本労働組合総連合会)  
代表者名 : 会長 芳野 友子  
発足 : 1989年11月  
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館  
活動内容 : すべての働く人たちのために、希望と安心の社会をつくる